

お正月の全国高校サッカー大会 佐賀北高校にご注目を!



12月30日に開会する第86回全国高校サッカー選手権大会に佐賀県代表として佐賀県立佐賀北高等学校が出場します。

佐賀北高校は11月3日に行われた佐賀県大会で、強豪佐賀東高校を3-1で破り、全国大会への切符を手に入れました。この佐賀県ナンバーワンチームを率いる松尾智博監督(35)は、東多気町大畑区出身、DF(ディフェンダー)の鶴田裕士(18)さんは同町古賀平区在住の3年生。お二人とも小さい頃から多くの地でサッカーに親しみ、励んでこられた共通点をお持ちです。

大会前にお二人に取材を申し入れたところ快く引き受けてくださいました。

まず鶴田さんに今回の出場についてお気持ちを伺うと、「両親、兄弟、先輩・後輩、チームメイトに感謝しています。小・中・高校を通してみなさんのおかげでここまでやってこれしました。」と、周囲の方々への感謝を述べられました。全国大会への意気込みについて、「初戦の中京大中京高校(愛知県代表)は、平均身長が180cmの大型のチームだが、自分たちは精神力と体力をつけるために、合宿での走り込みで鍛えてきた。スタミナ面では絶対に負けない。最後の最後まで気をぬかないで、一瞬でも勝機を逃さないようにしたい。」と答えてくれました。

また就任4年目で佐賀北高校サッカー部を全国大会に導いた松尾監督は、県大会決勝戦での勝利について、「これまで準決勝・決勝戦で後一步のところで勝ちを逃してきたので、正直ホッとしたしました。でも佐賀県の代表として全国に出場するんだという責任感がすぐに心を占めました。」と答え、チーム作りから今日のまでの苦労については「今年のチームは選手の個性が特に強い。その個性を組織の中で生かせるように工夫してやってきた。また我が佐賀北高校は『質の高い文武両道』をモットーとする学校なので、練習で学業に支障をきたさないように、気を配ってきた。」と、「選手」と「学生」の調和の大切さを強調されました。

全国大会に向けて、市民の方々へのメッセージとして、鶴田さんは「サッカーが好きなんでもたちに憧れてもらえるようなプレーをしたい」と笑顔で答え、松尾監督は「私も多久で育ち、多久でサッカーに親しみ、知り合った人たちのおかげで、今日があります。特に子どもたち、がんばって続けられやれないことはない、ということを感じてもらえればうれしい。」と昔を懐かしむような面持ちで、答えていただきました。

平成19年度 市長交際費支出状況

支出種別	区 別	件 数	金額(円)
弔 慰	11月分 累 計	1 61	5,000 181,525
見舞い	11月分 累 計	0 1	0 10,000
御 祝	11月分 累 計	2 26	40,000 172,040
賛 助	11月分 累 計	0 11	0 79,000
激励金	11月分 累 計	0 0	0 0
接 遇	11月分 累 計	1 52	2,205 122,834
会 費	11月分 累 計	6 24	39,000 147,000
その他	11月分 累 計	0 5	0 20,265
合 計	11月分 累 計	10 180	86,205 732,664

◎詳細は市のホームページに掲載しています。

■問い合わせ
総務課・秘書係 ☎75-2115

■市長のホームページ
<http://www2.saganet.ne.jp/ys/>